

## 実習で役立つ言葉遣いチェックシート

	尊敬語(主語は上司・目上の方)	謙譲語(主語は自分)
行く	行かれる／いらっしゃる 例)先生が回診に行かれる。	参る・参ります 例)私が病室に伺い(参り)ます。
言う	おっしゃる 例)先輩はなんとおっしゃいましたか。 ※「おっしゃられる」は「おっしゃる」と「~れる」が重なり、二重敬語なのでNG	申す・申します 例)私は患者さんにこのように申しました。
食べる	召し上がる 例)先生はもう召し上がりましたか。	いただく・いただきます 例)私は昼食をこれからいただきます。
する	なさる 例)ご家族の方は何もなさる必要はございません。	いたす・いたします 例)すべて私どもがいたします。
いる	いらっしゃる 例)先輩は何時までいらっしゃいますか。	おる・おります 例)私はこちらに4時までおります。
会う	会われる／お会いになる 例)先生はいつお会いになりますか。	お目にかかる／お会いする 例)Aさんのご家族の方に お会いいたし(お目にかかり)ました。
見る	ご覧になる 例)先輩はご覧になりましたか。	拝見する 例)私は拝見いたしました。
来る	お見えになる／いらっしゃる 例)先生がお見えになりました(いらっしゃいました)。	参る・参ります 例)私が参ります。
もらう	くださる 例)先生が資料をくださいました。	頂戴する・いただく 例)患者さんからお手紙をいただきました (頂戴いたしました)。
尋ねる	お尋ねになる 例)先生がお尋ねになりました。	伺う 例)私も伺いたい(お尋ねしたい)ことがございます。
知る	ご存知 例)時間が変更になったことはご存知ですか?	存じる・存じております・存じ上げる 例)時間の変更については存じております。
聞く	お聞きになる・聞かれる 例)患者のAさんが退院されたことはお聞きになりましたか?	伺う・拝聴する 例)のちほど、私からお伺いいたします。
読む	読まれる・お読みになる 例)先生が新聞を読まれました。 ※「お読みになられる」は、「お読みになる」と「~れる」が重なり、二重敬語なのでNG	拝読する・読ませていただく 例)私は論文を拝読いたしました。

医療従事者は次の漢字の違いも、心がけておきましょう。

※聞くと聴く⇒(耳で聞く)と(耳と心で聴く) ※見ると観ると看る⇒(目で見る)と(観察する)と(手と目で看る) ※直ると治る⇒(機械が直る)と(病気が治る)

	実習中の具体的な使い方
聞いてきます	詳しい処置を先生から伺って参ります。
案内します	新患さんを受付までご案内いたします。
わかりました	かしこまりました。明日までにご報告いたします。
後で連絡します	後ほど検査の結果をご連絡いたします。
私から言います	昨日のAさんの様子を私から申し上げます。
何か呼びましたか	先生、何かお呼びになりましたか。
行きます	Aさんの病室へ直ぐに参ります。
来てください	先生、急患です。すぐにいらしてください。
教えてほしい	手技のポイントをご指導(教えて)いただけないでしょうか。
知っている	はい、事務所の行き方は存じております。／先生のことを存じ上げております。
ごめんなさい	申し訳ございません。ご指示いただいたことを忘れておりました。
伝えておきます	実習中の内容を先生に申し伝えます。
ないです	質問疑問はございません。
もう一度言ってください	もう一度おっしゃっていただけますか。
できません	患者さんの個人情報には申し上げることはできかねます。
誰ですか	どちらさまですか。／失礼ですがどちらさまでいらっしゃいますか。